

第34回 河内長野市地域公共交通会議録

会議名称	第34回河内長野市地域公共交通会議
開催日時	平成29年1月31日（火） 午後3時30分～
開催場所	河内長野市役所802会議室
公開・非公開の別 （非公開とした 場合はその理由）	公開
傍聴者	2人
出席委員	別紙出席者名簿のとおり
会議次第	<ul style="list-style-type: none"> <li>（1）企画乗車券 PR チラシ・ポスターについて</li> <li>（2）平成28年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価 について</li> <li>（3）公共交通不便地域対策について</li> <li>（4）その他</li> </ul>
会議内容	別紙会議内容のとおり

### 第34回 河内長野市地域公共交通会議内容

発言者	内容（要旨）
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 第34回河内長野市地域公共交通会議開会の案内</li> <li>➤ 各委員の出欠状況の報告</li> <li>➤ 新任委員の河内長野市総合政策部長 小林委員の紹介</li> </ul>
事務局	<p style="text-align: center;"><b>【議題1】企画乗車券 PR チラシ・ポスターについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 資料1（企画乗車券 PR チラシ・ポスター）について説明。 （各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり）</li> </ul>
榊井会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 今年度は、井戸委員や南海バス様のご協力もあり、前年度から大幅に特典の協力店舗数が増えているとのこと、さらなるバスの利用促進に繋がると思う。</li> </ul>
上野委員 (観光協会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 本市の日本遺産申請に関連している観心寺について、表面に写真がないのはなぜか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 裏面の協賛事業者枠に1枚写真があるため、割愛した。</li> <li>➤ 有名なお寺なので写真を入れる方向で進めていきたい。</li> </ul>
榊井会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 本市では、日本遺産認定に向けて取り組んでいる。楠木正成公の写真が裏面にあるから、表にも写真があってもいいのかなと思う。</li> </ul>
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 周知の仕方について、全戸配布するのか？主要な場所に置くのも良いと思うが、他に何か良い方法はないのか。もう1つは、協賛事業者募集に関して、井戸委員（商工会会長）には大変ご尽力いただいたと思う。協賛事業者にとって広告効果もあると思うが、次回からも事業者は増えていくか？</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 1点目について、全戸配布は予定していない。平成28年度も行ったが、市内全小中学校、他の部局のイベント、協賛事業者の窓口に置かせてもらおうと考えている。今後、あらゆる方法で配布先を増やして行こうと考えている。</li> </ul>
井戸委員 (商工会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 広告の募集については、いいチャンスだということで会員に知らせていった。負担なく参加してくれたと考えている。最近、新聞紙の折り込みは、効果がなくなってきている。最近、若者を中心に、スマートフォンで情報収集をしている。ウェブサイトの方が効果的であり、そちらにシフトした方が良い。運輸の世界は人材不足だが、一方で人を増やしている会社もある。その手法は、インターネットである。</li> </ul>
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 効果を検証し、サービスを提供したことでサービス提供分の赤字を補填し、</li> </ul>

事務局	<p>黒字になる。こういったことを、評価できる仕組みを作っていったら良いと思う。</p> <p>➤ 今年度は利用者数をカウントしていたが、来年度はニーズ調査や協賛事業者の声なども聞いていきたいと思う。</p>
事務局	<p><b>【議題2】平成28年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について</b></p> <p>➤ 資料2（平成28年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価）について説明。</p> <p style="text-align: center;">（各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり）</p>
日野副会長	<p>➤ 3点ある。1点目は、達成状況について、絶対値をみているのか。それともプラスとマイナスでみるのであれば、少して○×が変わる。2点目は、事業評価をするときは、全体が増えても対象の部分の伸び率が高かったら、相対的に全体以上に増えたと評価できる。こういう評価の仕方もあると思うので、事務局か村上委員にお伺いしたい。3点目は、経年変化の推移について、単年度評価したときに、前年度と比べて評価したら、毎回○と×が交互にくる。また、毎年減少している路線については検討が必要だと思う。</p>
村上委員 (近畿運輸局)	<p>➤ 実際に、今の取り組みで一方が減っていても、もう一方が増えているなら、個人的には増えていると評価できると思う。ただ、そこは、評価委員会が決めることである。プラスならAだし、日野・滝畑コミュニティバスについてはBでもいいのかなと思った。</p>
日野副会長	<p>➤ 国は、全て定量化して評価しようとしている。乗客数だけで評価するのではなく、市民の協働など、税の公平性の問題もあり、頑張っているところに税の投入をするべき。自己評価で×にして、第三者評価でちゃんと見て貰えないとそのまま×でいってしまう。こういったところに基準を作るべき。±5%なら、現状維持で良いと思う。ずっとマイナスが続いている路線については、ピックアップして対策を考えていくべき。評価の仕組みについて、こういった会議で検討していったら良いと思う。</p>
事務局	<p>➤ フィーダー系統については、次の6月に申請を出す際に、支局に相談したい。副会長が言ったように、長期的な視点で見ていきたい。</p> <p>➤ 事務局から国に提出する際、細かな修正等については、事務局一任で承認を得る。</p> <p><b>【議題3】公共交通不便地域対策について</b></p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 資料3（公共交通不便地域対策について）について説明。 （各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり）</li> </ul>
曾和委員 （老人クラブ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 自治会の勉強会に参加している市民さんの年齢は何歳程度か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 60歳代くらいの車を使っている世代が多い。70、80歳代の方は少ない状況である。老人の方なら、公共交通を乗り継いでいくのが辛いと言っていた。</li> </ul>
曾和委員 （老人クラブ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ モックルコミュニティバスもいいが、京都などで実施しているタクシー割引も良いと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 今後も研究していきたい。</li> </ul>
村上委員 （近畿運輸局）	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 高齢者事故の増加に伴い、国も対策を進めている。免許返納について、高齢者の方が公共交通を利用しやすい方向に進めば良い。</li> </ul>
曾和委員 （老人クラブ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 警察からも、免許返納について意見をもらっている。高齢者は、車がないとどこにもいけない人が多い。免許を返納しても特典がないという状況である。家族が言えば返納する人もいるが、まだまだ免許返納は進んでいない。</li> </ul>
上野委員 （観光協会）	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 大阪府では免許返納したら安くなる制度はあるが、河内長野市内の店舗ではまだない。交通の便は田舎の方が悪い。昔あったタクシー割引はもうなくなったが、返納した人が公共交通を利用しやすい制度について、考えてみてはどうか。</li> </ul>
榭井会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 昔、タクシーかバスか選べる制度はあったが、現在は様々な事情によりもうなくなっている。私も免許返納して何か特典がないのかとお声をよく聞く。返納したことで何か特典がないのか、併せて考えていきたい。</li> </ul>
林委員 （大阪第一交通㈱）	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 九州の本社では返納者に特典を提供している。当社でも3～4月ぐらいから免許返納者対象の割引制度について、前向きに考えている。</li> </ul>
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 不便地域では、今は公共交通はいらぬという雰囲気だというのが、そもそも多くの団地では、同じ条件なら居住地選択の際、郊外なら広い、中心なら狭いという条件で選択している。高齢化が進むと商業施設が撤退する。これは、外的条件である。今まで、車で通っていた人が、急にバスが必要になる。ここで、不便だからといって、とにかく税金を投入しサポートすると、居住選択の際に、条件の悪い所を選んだ人たちと比べた際に不公平になる。条件が変わることで、税金をどう使うかを考えることは大切である。今、頑張っている地域に税を投入することに比べて、今、公共交通は不要と言っている地域に困ったときにすぐに税を投入すると、税の公平性の問題から、市民の同</li> </ul>

	<p>意は得られない。こういったことを考えていかなければいけない。社会では、不便地域だからすぐに税金投入しなさいという話になっている。障がい者や高齢者への割引制度とも関係してくる。福祉政策なのか公共交通なのか、税の公平性の中で、横を見据えて考えていかなければいけない。</p> <p>国土交通省が立地適正化について最近言っているが、これは都市の人口再高密度についてであり、ヨーロッパでは昔から既に始まっている。日本ではまだまだ進んでいない。居住地選択や税の公平性の話から、将来に向かって考えていかなければいけないし、この会議の中で方針を決めていけたらと思う。</p>
<p>梶井会長</p>	<p>➤ 不便地域の解消は、地元の皆さんと考えていきながら、解決していきたいと思っている。その中でその地域にとって何が必要かを考えていきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>【議題4】その他案件について</b></p> <p>➤ その他案件①（日野・滝畑コミュニティバス乗り込み調査）について報告。</p> <p>➤ その他案件②（バスの乗り方教室）について報告。</p> <p>➤ その他案件③（平成28年度 市民意識調査）について報告。</p>
<p>梶井会長</p>	<p>➤ 皆様方の任期中の会議開催は本日をもって最後となるため、最後に委員の皆様から一言ずつお言葉を頂きたい。</p>
<p>伊勢委員 (和歌山高専)</p>	<p>➤ 任期中は学術的な視点で発言させてもらった。委員の皆さんからは前向きな発言があり、事務局も市内連携をしており、良い会議であったと思う。今後、どのような形で関われるかわからないが、また機会があればよろしく願いしたい。</p>
<p>村上委員 (近畿運輸局)</p>	<p>➤ 河内長野市は横の連携、地域の協力など良い方向に持っていこうという意識が凄いと思う。今後も、良い関係を続けていき、他市に良事例として紹介できるようにしたい。</p>
<p>田中委員 (富田林土木事務所)</p>	<p>➤ 交通について、もっと観光に繋げていければいいと思う。市内のみならず、市外、海外の人を呼べるようにしていけたらと思う。</p>
<p>秋元委員 (南海バス㈱)</p>	<p>➤ 皆さんがポジティブに考えていく良い会議だったと思う。引き続き、前向きに考えていくことができたらと思う。</p>
<p>松内委員 (南海バス㈱)</p>	<p>➤ 私の仕事は皆さんのクレーム処理など、バスについて憂鬱になることが多いが、この会議に来ると、前向きになれる。ここに来ると、明日から頑張ろうという気持ちになれる。これからも引き続き、前向きに話し合っていて欲しい。</p>

<p>坂本委員 (南海バス労働組合)</p>	<p>➤ 会社の立場ではなく、労働組合の立場でお客様や現場の意見を言わせてもらった。そういう立場で発言できたことがうれしい。</p>
<p>小西委員</p>	<p>➤ 委員の皆様の様々な立場からの意見を聞いて、なるほどなと思っている。今後とも、普段の業務にも活かしていきたいと思う。</p>
<p>小林委員</p>	<p>➤ 第5次総合計画では、コンパクトシティを目指しており、将来に向けて交通の充実は重要な問題であると思う。</p>
<p>深海委員</p>	<p>➤ 第5次総合計画に関連し、本市では立地適正化計画を作成中である。今、交通は必要でないが、将来は必要になると言う方々もいるが、不便地域について今後も交通事業者と連携しながら考えていきたいと思う。</p>
<p>田村委員</p>	<p>➤ 私の部局では、観光を所管しており、奥河内くろまろの郷の道の駅登録が目前である。今後とも、皆さんに協力してもらおう機会があると思うが、よろしくお願ひしたい。</p>
<p>岩井委員 (市民公募)</p>	<p>➤ 一市民の立場で発言してきた。高齢者対策は大きな課題だと思う。前回の会議では庁内連携会議について話があったが、事務局は、役所の縦割りを横で繋がっていこうという取り組みをしている。この中で出た話をいくつか実現してくれたらと思う。</p>
<p>井戸委員 (商工会)</p>	<p>➤ 事務局が必ず結果を出してくれる。前回言った地図もできている。だからこそ、私たちもいい加減なことが言えないなと思う。ここが、この会議の良い所である。</p>
<p>上野委員 (観光協会)</p>	<p>➤ 第5次総合計画にもある目標が、観光協会の掲げる目標に似ている。高野街道まつりなど南海バス(株)さんには協力してもらっている。これからも多くの方が河内長野市に来るように、頑張っていきたい。</p>
<p>曾和委員 (老人クラブ)</p>	<p>➤ モックルカード PR チラシについて、スマートフォンでも見られるようにしたらいいと思う。日野や滝畑など、田舎だとみんなマイカー移動である。1時間に1本はバスを回した方がよい。それと河内長野市は、全体的に暗い。LEDの街灯などをバス通りに設けてくれたらなと思う。</p>
<p>林委員 (大阪第一交通(株))</p>	<p>➤ くすまろは5周年を迎えたが、くすまろは乗合タクシーの中では、当社で最も高い収支率を誇っている。こういった形で、今後も河内長野市に貢献できたらと思う。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>➤ 3点ある。1点目は、私は全部で5つほど公共交通会議に出ているが、この会議は委員の発言が活発な、最も会議らしい会議だと思う。他市にも、河内長野市に尋ねるように言ったり、河内長野市に他市に行ってもらったりしている。2点目は、これからはバス事業者さんにも協力いただいて、前向きに</p>

事務局	<p>一緒に進めていきたい。先程は、バスの乗り方教室など楽しい話が聞けてよかった。3点目は、少子高齢化について、マイナスに考えるのではなく、高齢者の方と一緒にまちづくりをするなど、公共交通の場で活躍してもらう方法について、話していけたらいいと思う。</p> <p>➤ 次回の会議は、本会議の平成 29 年度予算承認について、3月に書面開催を予定している。</p>
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第34回河内長野市地域公共交通会議委員名簿

平成29年1月31日(火)午後3時30分から 市役所802会議室

	氏名	所属・役職	出欠状況
会長	榊井 繁春	河内長野市 副市長	
副会長	日野 泰雄	大阪市立大学大学院 工学研究科 教授	
委員	伊勢 昇	和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授	
委員	村上 進一郎	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 総務企画部門 首席運輸企画専門官	
委員	湯川 義彦	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 輸送部門 首席運輸企画専門官	欠席
委員	豊田 正明	大阪府 都市整備部 交通道路室 都市交通課 公共交通計画グループ 課長補佐	欠席
委員	田中 伸之	大阪府 富田林土木事務所 地域防災担当参事兼地域支援・企画課長	
委員	八代 光男	大阪府 河内長野警察署 交通課長	欠席
委員	秋元 克之	南海バス株式会社 企画部 企画課長	
委員	松内 祐二	南海バス株式会社 営業部次長兼営業課長	
委員	坂本 頼幸	南海バス株式会社 労働組合代表	
委員	林 邦昭	大阪第一交通株式会社 河内長野営業所長	
委員	椋本 専次	近鉄タクシー株式会社 南大阪総合営業所長	欠席
委員	曾和 孝司	河内長野市老人クラブ連合会 会長	
委員	上野 修二	河内長野市観光協会 会長	
監事	井戸 清明	河内長野市商工会 会長	
委員	岩井 仁	市民公募	
監事	廣門 久美子	市民公募	欠席
委員	岡田 充	河内長野市保健福祉部長	欠席
委員	田村 公秋	河内長野市環境経済部理事	
委員	深海 秀友	河内長野市都市づくり部長	
委員	小西 昌敏	河内長野市総務部長	
委員	小林 章良	河内長野市総合政策部長	